# かんきょうを考えるコーナー

住民課　生活環境係

**今月の環境キーワード**　**ゼロエミッション**・・・大量に発生する廃棄物の処理及び最終処分場（埋め立て地）の使用期間の減少は、人類が直面している深刻な問題です。特に狭い国土を有する日本においては、国家的に対応すべき最優先課題の一つとして位置づけられます。

ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることをめざすことで新しい資源循環型の産業社会の形成をめざす構想が「ゼロエミッション」です。

これらは、いずれも単なるリサイクルの促進やそれに伴う廃棄物発生の低減のみを示すものではなく、使用原材料の種類や生産・流通プロセスの見直しや、リサイクルの際に発生する余熱利用等、あらゆる段階での環境負荷低減を行うことです。

## ご存じでしたか！生ごみ処理機補助金制度

町では地球に優しく、ゴミ減量化に貢献する生ごみ処理機の補助金制度があります。

生ごみ処理機には、電動式・コンポスト・ぼかし容器があり、それらを利用すると、生ごみの排出量がグッと減ります。各社機種にもよりますが、体積にして７分の１～20分の１に減量できます。つまり、週２回生ごみをステーションに出していた家庭でも月に１、２回ほどですみます。

生ごみの減量だけではなく利用者からは次のような感想があります。

・悪臭が無く、虫がわかない
・肥料として花壇、畑に利用
・ごみ出しの手間が大幅に省ける。
・収集日まで保管する必要が無いため、衛生的。

（補助金額）

・電動式
　購入金額の３分の１以内
　（限度額　２万円）
・コンポスト式
　購入金額の２分の１以内
　（限度額　３千円）
・ぼかし容器
　購入金額の２分の１以内（限度額　３千円）

▲電動式

コンポスト式▶

補助金制度の利用については、まずは生ごみ処理機を販売店で購入してください。そして役場住民課（生活環境係）にあります補助金交付申請書に必要事項（住所、氏名、振込先口座等）を記入の上、

・カタログ（又は取扱説明書）のコピー
・領収書（コピーでもＯ．Ｋ）
・設置後の写真（電動式のみ必要）

を添えて提出してください。

＊池田町ホームページ
(http://www/town.ikeda.gifu.jp/)
でも補助金交付申請書がダウンロードできますのでどうぞご利用ください。

## 愛犬の狂犬病予防接種お済みですか？

「狂犬病予防法」に基づき、生後91日以上の犬は、年１回の狂犬病の予防注射が義務付けられています。集合注射は５月に終わっていますが、それ以外でも動物病院で接種することはできますので、現在もなお未接種の場合には、至急接種をしてください。他人に咬み付いてからでは遅いです。

11月に今年度予防注射を受けていない方へ督促状を郵送させて頂きましたが、適切に対応して頂けましたか？

**・飼っているが未接種の場合**
→「ハガキ（督促状）」を持参し、動物病院で狂犬病予防注射を接種してください。

**・飼い犬が死亡している場合**
→「犬の死亡届」を住民課生活環境係へ提出してください。（鑑札がある場合は必ずお持ちください。）

**・飼い犬が病気等の理由で予防接種が受けられない場合**
→動物病院で発行されます「狂犬病予防注射実施猶予証明書」とハガキ（督促状）を住民課生活環境係窓口へ提出してください。

**・町外へ転出したり、犬を譲渡した場合**
→「犬の登録事項変更届出書」を転出先役場（役所）狂犬病予防担当まで提出してください。

## ○”出前“生ゴミ堆肥相談の日

日時　１月14日(木)、１月28日(木)
　　午前９時30分～12時
会場　池田町リサイクルセンター（沓井）

## ○お問い合わせ先

ＮＰＯ法人　Waコミュニティ
（石井☎45・3580
角田☎45・2039）まで

## ○炭入りボカシ、サポートバケツ販売店

ＪＡいび川池田支店　☎45・2043
中村種苗　☎45・2265
冨士屋種苗　☎45・6087
やまみ商店　☎45・4738

## 今月の”Waコミュニティ“コーナー

キューバといえば、髭が個性的なカストロ首相を思い出される方も多いと思います。ソ連と友好関係にあった社会主義国キューバは、ソ連崩壊後に大変な経済危機に陥った。そこで首相は「食物輸入の財源なし。国民は自己菜園を持ち、食物の自己管理を義務とする。ただし消毒薬、肥料の政府支給は無し」というおふれを出しました。キューバでは、生ゴミの堆肥化、土作りは当然で野菜作りが始まった。その結果、国民全体が安全で新鮮な有機野菜を食することになり、キューバで20年間に何が起こったのか？20年前乳児死亡率は1,000人中38名、平均寿命は65・4才であった。20年後乳児死亡率は、先進国並みの4・7名となり、平均寿命は78・6才と大きく伸びた。百才人口も、日本の3,500人に一人の寝たきりに対し、キューバの1,800人に一人の百才は自立して元気に生活しているとの事です。

今年も生ゴミの堆肥化、安全有機野菜作りの重要性と皆様と共に元気に進めたいと願っております。